

時代の変化に対応する警察活動推進体制の整備について

1. 政策提案

- 依然として厳しい治安情勢の中、時代の変化に的確に対処し、県民生活の安全と地域社会の平穏を確保するためには、**警察体制の整備充実が不可欠**であり、**更なる警察官の増員について特段の配慮**をされたい。

2. 現状と課題

- 本県は、近畿、中部、北陸を結ぶ交通の要衝にあり、また京阪神等の都市圏に近いことから人口増加が著しく、本県警察官1人当たりの負担人口623人は全国7位と高い状況にある。
- 一方、治安情勢については昨年中、全国的に刑法犯認知件数、交通事故件数ともに減少する中で、本県においては刑法犯認知件数で全国唯一の増加県となり、また、交通事故件数も増加している。警察官1人当たりの負担はそれぞれ全国で11位(刑法犯)、8位(交通事故)と高い状況にある。
- こうした中、サイバー犯罪の急増、犯罪死の見逃し防止など、緊急に対処すべき課題が生じており、徹底した合理化・再配置の取組を行っても対処しきれないという事態に直面している。

3. 本県の取組状況

- 本県では、平成13年度以降に増員措置された287人の人員と、合理化・再配置で捻出した人員を、県民に直接関係する部署への重点的な配置に努めている。
- 本年度は、犯罪死の見逃し防止を図るため検視体制を強化するなど、捜査を取り巻く環境の変化に的確な対応を行ったところである。

(警察庁)

(政策提案の概要)

滋賀県の現状

人口増加等に伴う警察官の負担の増加

警察官 1 人当たりの負担人口数	6 2 3 人【全国 7 位】
刑法犯認知件数	7. 0 件【全国 11 位】
交通事故発生件数	4. 1 件【全国 8 位】

主な取組

合理化・再配置による重点配置

増員措置（平成 1 3 年以降に 2 8 7 人）に、徹底した合理化・再配置で捻出した人員を合わせて、県民生活に直接関係する部署に重点配置

新たな課題の浮上

サイバー犯罪の急増 犯罪死の見逃し防止など

警察官の増員による対策が必要

《全国規模で連携した広域・部門横断的な捜査体制の確立》

ネットワーク利用犯罪・不正アクセス等の急増、インターネット上の違法・有害情報の氾濫に対して、IT 社会における国民の安全・安心を確保するため、警視庁と都道府県警察が連携した捜査体制の構築が必要

《検視体制の強化》

死因究明に対する国民の関心が高まる一方、警察における死体取扱は急増しており、犯罪死の見逃しを防止するため、検視体制の強化が必要

【警察官の増員の効果】

時代の変化に対応する警察活動推進体制の整備

→ 県民の安全と地域社会の平穩の確保